

令和4年度 学校自己評価システムシート（県立松伏高等学校）

目指す学校像	学力の定着及び向上と、専門的な技術・能力の伸長を図るとともに、幅広い社会性を身につけさせ、地域に信頼され貢献できる人材を育成する。
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程や学習指導計画及び授業の工夫・改善を進め、学ぶ意欲と学力を向上させる。 2 キャリア教育を進め、高い進路意識を育み、進路希望を実現できた生徒の割合を高める。 3 生徒会活動や学校行事の質を高め、部活動を活発化させる。 4 規律を重んじ、地域に信頼され貢献する教育活動を推進する。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲をより高め、学力向上を図っていく必要がある。 生徒の学習習慣の定着、学習時間の増加に引き続き取り組む必要がある。 ICTの活用について、研究を進め実践を積んでいく必要がある。 新学習指導要領の実施に伴い、観点別評価の実践や研究を進める必要がある。 	組織的な取組の徹底（各教科の自己評価シートの作成、ICT活用スキルの向上等）	<ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力の定着が必要な生徒に基礎学力向上補習を実施する。また教務部と進路指導部の連携で進路補習を実施する。 ②各教科で予習、復習の指導を粘り強く続け、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ③書籍選定の工夫、図書館の新検索システムの活用等で学習意欲・学力の向上に資する。 ④ICTに係る研修会を引き続き行い、教員のICT活用スキルの更なる向上を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習未定着者数が減少し、進路補習の講座数、参加者数が増加したか。 ②生徒の学習時間が増加したか。 ③本の貸出数や図書館利用が増加したか。 ④研修会等で教員のICT活用への意識やスキルの向上が進められたか。 			
		観点別評価の円滑な実施	①特別委員会で評価方法や課題を検討し、職員全体が共通理解のもとで実施する。	①特別委員会を中心に、評価の在り方を共有して実施することができたか。			
2	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導にきめ細かく取り組み、生徒一人一人の進路希望の実現に尽くしている。引き続き生徒には将来について考える力を身につけさせ、進路実現に向けて適切な指導を行う。 	大学入試、共通テストに対応した進学指導及び進学・就職希望に応じた個別指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①進学希望に対応した補習の実施し、模擬試験を活用する。 ②進路意識を育てるためにスタディサブリを活用する。 ③就職希望の実現のためにハローワークとの連携や企業との密な連絡、ICT(HANDY 進路室)を活用する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①補習内容の充実、補習参加者は増えたか。 ②活用により、生徒の進路意識は向上したか。 ③就職希望者の内定率 100%を引き続き達成することができたか。 			
		各種検定や高度な資格取得の更なる推進	①情報ビジネスコースでの系統的な取組に加え、普通科の生徒にも積極的に資格取得に取り組ませる。	①進路希望に応じた資格取得に取り組む生徒数は増加したか。			
3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の学校生活が続く中、できる限り学校行事、生徒会行事を実施している。引き続き感染予防を取りながら、生徒の主体的な活動を大切にし、教育活動で生徒に身につけさせたい力(Matsubushi Eight Policy)を明示することで、職員・生徒が意識的に取り組み、教育効果をさらに高めていく必要がある。 	主体性を大切にしたい生徒会活動等の実施と学校行事の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①感染予防対策を講じながら、生徒会本部役員の「やりたい」を形にして生徒会活動を活性化させる。 ②生徒会本部を中心に生徒会組織の連携を図り、生徒の主体性を大切にしながら学校行事を作りあげる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒会本部役員を中心とした自発的な活動により、活動が活性化したか。 ②行事を通して生徒の様々な力を伸長することができたか。 			
		ガイドラインに応じた活動の中での部活動の活性化	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒会本部を中心に部活動の活動状況を取材し、HP等で広報する。 ②生徒玄関を利用して文化部の発表の場を作り、活動を活性化させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動の活動報告で、HPの活用が進んだか。 ②文化部の活動成果発表を通じて、活動が活性化したか。 			
4	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かい礼節・マナーの指導を通して、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が展開できている。今後も集団の中の一人として、自覚と行動する力を身につけさせていく必要がある。 長年地域との連携を大切にしてきた実績がある。今後も地域との連携を大切にし、本校の教育活動の魅力を発信することで、地域に信頼される学校づくりを推進する。 	挨拶・遅刻・服装等規範意識の醸成と安心・安全な学校生活の維持	<ol style="list-style-type: none"> ①挨拶ができ、マナーが守れるように、きめ細かく対応しながら生徒に気付かせる指導を行う。 ②交通安全教室の実施やPTAと連携した交通安全指導を実施する。 ③いじめ等がないか早期発見するために、学校生活アンケートを複数回実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の挨拶・マナーへの意識は高まったか。 ②交通事故件数が減少したか。 ③学校生活のアンケートを複数回実施し、組織的な取り組みができたか。 			
		地域・保護者と連携した取組の推進とHPを活用した本校の魅力を発信及び生徒募集活動の改善	<ol style="list-style-type: none"> ①松伏町を中心に地域との連携を積極的に進め、地域貢献を通じて本校に対する理解を一層深める。 ②「松高新聞」を定期的に発行し、地域の小中学校等に配布する。 ③HPの中学生向けのページをより利用しやすくなるように改善する。 ④学校案内の内容をより魅力が伝わるよう内容、デザインを見直す。 	<ol style="list-style-type: none"> ①松伏町等が推進する事業を通じて地域・保護者との連携は推進できたか。 ②本校の魅力を広く伝えることができたか。 ③中学生向けのページは改善できたか。 ④学校案内の内容等見直しできたか。 			

学 校 関 係 者 評 価		
実 施 日 令 和 年 月 日		
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価		